



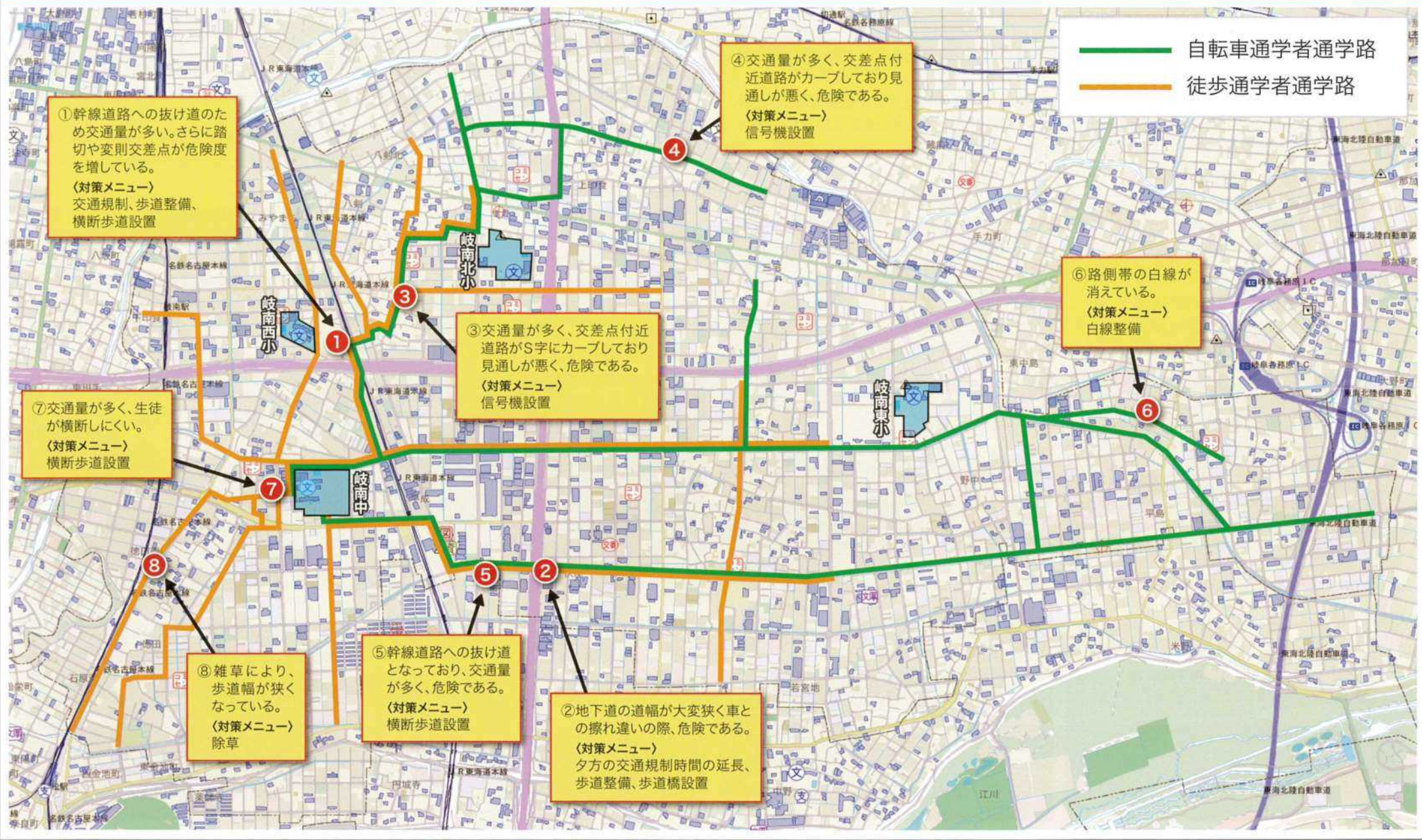
岐南

平成27年3月15日

号外

岐南中学校PTA
広報委員会

岐南町立岐南中学校区通学路対策箇所図



地区懇談会 その後の取り組み

毎年、自治会長、青少年育成委員、小中学校校長及び教員、保護者を交えて地区懇談会が開催されています。

今年度は昨年から引き続いて「子ども達の安全・安心な生活を目指す」～危険場所の情報共有から危険予知能力と交通安全意識の向上～をテーマに話し合いがなされました。地域の皆様から頂いた意見をもとにPTAでは以下の取り組みを行いました。

●通学路の視察、危険箇所の洗い出し

全通学路を実際に視察し、自分たちの目で危険箇所の確認を行いました。通学路を歩いてみると、雑草により歩ける状態ではない歩行者専用道路、交通量が多いにも関わらず横断歩道のない交差点、カーブにより車から認識されにくい交差点、車道と歩道を分ける白線が消えかかっている所など、懇談会で意見をいただいた通りの危険箇所が確認されました。

●危険箇所改善要望書を行政に提出

学校の協力を得て、より危険と思われる上位8カ所を特定、平成26年8月、行政に改善要望書を提出しました。その結果、既に3カ所において対策を行う回答を頂きました。

●旗当番箇所、通学路の見直し・事故の実態調査

通学路、旗当番の実施箇所、自転車事故の発生現場を反映した「危険箇所マップ」を作成しました。結果、現状の旗当番は、危険箇所、もしくはそのすぐ近くで行われていることが分かり、変更の必要は無しと判断しました。

通学路は危険箇所が改善困難な場合など、検討の余地があります。交通事故は大通りより狭い路地で起きていることが多く、交通安全指導を引き続き行っていく必要を感じました。

●成果と今後の課題

前年度の活動結果に基づき、地域の方々と意見交換を重ね、実態調査を行うことで、危険箇所マップを作成することができました。また、要望の全てではありませんが、行政にも認識・対応を行っていただく事ができました。

子ども達がより安全に生活していくために環境を整えることは保護者として当然ですが、同時に近い将来、社会に出ていく子ども達に、危険の予知能力を高め、交通安全に対する意識を向上させることは必要です。今後は今回の結果を子ども達にも提示し、身近な交通環境を自ら考える機会にできるよう支援していきたいと思ひます。

